

「御滝公園おたきから常盤平ときわだいら観桜へ」

塚越としを

小走りに春の鼠や斜面林

みなも ひめこぶし

せつせつと谷津の水面や姫辛夷

不動尊かつと眼の射る桜かな

れんぎょう

ちようず

連翹や獅子の口より手水受く

春の鹿うっまなこ虚ろに我を見き

はなあざさ

野馬追のまひの牧のありとふ花梓

桜街道遠おちはさくらの雲となり

まなか

さくら散る真央を君と歩きけり

提灯に灯が入り花の饒舌じようぜつに

祭り会場終つひの舞台や花吹雪

◆御滝公園：船橋市金杉、桜の名所。近くに谷津を縁取る斜面林があり生態系豊かな自然が見られる。

◆不動尊：御滝公園に隣接、御滝山金蔵寺。平安時代、夢のお告げで掘った場所から不動尊が現れ、水が溢れて滝となったという伝承がある。本堂の裏の森に数頭の鹿がいる。

◆野馬追いの牧：下総の広大な台地に徳川幕府の放牧場（馬牧）があり、柏地区から習志野地区までを「小金牧」と呼んだ。馬が逃げないように野馬土手が作られ、遺構が残る。相馬・野馬追いの馬もここで放牧したとか。梓弓が作られる梓の木に花が揺れている。

◆常磐平の桜：新京成電車五香駅より常盤平を経て八柱駅まで、約3kmの市道が六百本を越す見事な桜のトンネルとなる。昭和六十二年、日本の道一〇〇選に指定された。

平成二十八年四月